



安全・適正就業だより

第 41 号
平成 29 年 8 月 17 日

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 安全は 人に頼るな まかせるな ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

全国では、こんなに重篤事故が起きています。！

全シ協 安全就業ニュースより

5月に7件の重篤事故が発生しました。その内、2件の死亡事故についてお知らせいたします。

1 男75歳。シュロの木を伐採したが、木の根元から伐採したので、敷地の擁壁（高さ1.5メートル）下の敷地外に3メートルほど飛び出して倒れた。その際倒木が擁壁の下で片付けをしていた当該会員に激突した。

その後、病院に搬送されたが死亡した。

2 男73歳。自宅から就業場所へ自転車で向かった。就業場所の道路向かいの公園道具小屋に自転車を止め、作業場所への横断歩道（青信号）を渡っていたところ、東から北へ右折してきたトラックに撥ねられた。

その後、病院に搬送されたが死亡した。

.....
また、6月にも死亡事故が1件発生しました。男77歳。高さ3メートルのマ

キの木の葉を3分の2ほど刈り終え、残りの3分の1を刈ろうとして三脚脚立を移動して登ろうとしたところ、8段脚立の下から2段目に足をかけた時点で脚立がぐらつき転落した（安全帽を着用していた）。

その後、病院に搬送されたが死亡した。

ある80歳代の先輩が、「5メートルの高さより、むしろ1メートルの高さの作業の方が事故が起こりやすい」と言っていたのを思い出しました。低いという安心感から注意力が下がり事故が発生しやすくなるという事でしょうか.....

このように、全国では常に重篤事故が発生しています。誰でも何処でも起きる可能性のある事故を無くすためには、先ず自分で注意すること、そして、連帯感のある作業者同士の気配りが必要です。共働・共助、お互いに助け合い、協力し合って事故を無くしましょう。

巡回視察被告 事故0を目指して

7月3日、秩父ミュージックパーク草刈り作業を巡回しました。12名の会員が作業を行なっていました。現場は、クズ葉が多く機械に絡まり作業がやりにくそうであった。刈った草は荒川総合グラウンド下の河川敷に搬送。

熱中症予防のため、こまめに水分と休憩を取って作業を行なうよう伝えた。



事故報告

秩父市シルバーで2件の事故が発生しました。

- 1 7月1日、大野原の公衆トイレ清掃中、梅の木の下に駐車しようとしたところ、枝で屋根をこすって車に傷をつけた。
- 2 7月22日、聖地公園内で植木剪定中、法面を移動する際に足を滑らせ左足くるぶしを骨折した。

安全・適正就業委員会報告



7月28日、福祉女性会館に於いて、「職域班長研修会」を行いました。今まで、事故が起こる度に、会員・班長に集まっていたいただき研修を行ってきたところですが、昨年度、特に事故の多かった草刈班に対しては、特に、29年2月に「班長研修会」を行い安全就業の徹底を図るなど事故防止に努めました。今回の研修会は、比較的事故発生率の低い職域についても、途上災害を含めた事故を未然に防ぐため、草刈班以外の班長に集まっていたいただき、安全基準の再確認と遵守、事故の現状説明、また、班長ワッペンを渡し事故防止をお願い致しました。

○会議の時に出了た主な意見

- ・シルバーは、会員が主体であり、事務局は会員が働き易い職場作りを行なっている。仕事が増えても安全に働けるような秩父シルバーに。(事務局長、あいさつより)
- ・安全・適正就業委員会についての説明 (木村委員長)
安全委員の人数(男7名、女2名)、安全だよりの発行、草刈り事故の発生について、途上災害の増加、ドライバードックの開催について他
- ・研修会資料の説明 (木村委員長)
- ・会員の健康チェック(就業前後)、お客様は高齢者も多いので、転倒防止など事故防止に注意している(ガイド班)。その他、職域ごとに事故防止の意見あり。
- ・安全委員より
 - 1 普段の注意に加え、例えば、冬季の路面凍結など、その時の作業環境についても注意が必要である(安全に対する心構え)。



事故は、時と場所を選ばない

- 2 特に、ガソリンなどの危険物を扱う場合の注意について

15名の班長さんに参加していただき有意義な研修会でした。毎年1回このような研修会を行い、安全の再確認が出来たらよいと思います。

秩父市野坂町1-13-14、電話 0494-22-4454

秩父市シルバー人材センター、安全・適正就業委員会

